

広聴部会

日時 令和7年12月22日(月) 時 分～
場所 第1委員会室

1 市議会だより(207号)広聴のページについて

2 今期の広聴部会について(総括)

3 申し送り事項について

4 その他

<今後の日程>

・2月13日(金) 議会運営委員会・幹事会終了後

令和6年度広聴部会申し送り事項

➤ わがまちトークについて

- 今後も自治会及び各種団体を対象に開催する。
 - ◇ 実施形式は、令和6年度開催時同様の小グループ形式で行い、適宜模造紙や付箋を用いる。
 - ◇ 相手方に提案いただいたテーマについて、事前に方向性をすり合わせておく。
 - ◇ 意見交換会への導入として、アイスブレイクの時間を設ける。
 - ◇ より話しやすい雰囲気づくりに努める。(飲み物を出すなど)
 - ◇ いただいた意見は、各常任委員会に振り分けず、全議員に共有することとする。また、議会活動として受ける意見のため、議員個々で動いて解決しに行くことは避ける。
 - ◇ 各常任委員会からの応援議員については、広報広聴委員のみで対応するか否か今後の協議の中で検討する。
 - ◇ アンケートの内容については、より簡略化し、議会への意見を記入いただけるよう改善する。
Ex) ×「市政の課題で関心のあること」
 - ◇ 令和6年度に開催した3回のうち、応募により参加されたのは1団体のみであったため、自ら手を上げて参加していただけるような仕組みの構築を図る。
 - ◇ その他いただいたアンケートや協議記録などを参考に活動に当たる。

➤ 議場見学会について

- 今後も議場見学会を継続実施する。
 - ◇ 小学生全学年の児童を対象としていたが、低学年と高学年では、知識量や行動意識が異なるため、対象者について再考する。
 - ◇ 議会から乖離せず、小学生にとって馴染みのある事柄を取り入れる。
 - ◇ 広報の方法について、これまで「市のLINE」「市議会ホームページ」「市議会だより」を活用してきたが、どなたでも参加したいと思えるような方法を模索する。
 - ◇ アンケートを参加者と同伴者で別々の内容とするかどうか協議する。
 - ◇ 喜んでいただける参加証について考える。
 - ◇ 活動の様子を記録するにあたり、動画や写真を繋げたショートムービーの作成など、参加したことのない方々がイメージしやすく参加したいと思えるような広報及び活動報告をする。
 - ◇ その他いただいたアンケートや協議記録などを参考に活動に当たる。

➤ その他の広聴活動について

- 必要に応じて、街頭インタビューなどの活動を行い、市民の意見を聴収する機会を設ける。
 - ◇ 開かれた議会として、より身近に感じていただけるような取組を検討する。